

令和3年度
学校関係者評価報告書

新潟医療福祉カレッジ

令和 4 年 6 月 17 日

令和 3 年度 学校関係者評価報告書

学校法人エイシンカレッジ
新潟医療福祉カレッジ
学校関係者評価委員会

学校法人エイシンカレッジ 新潟医療福祉カレッジ 学校関係者評価委員会は、令和 3 年度学校自己評価の結果に基づき学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 基本方針

本校における学校関係者評価は、自己評価結果を基に課題を明確にし、関係者にて組織された学校関係者評価委員から意見を聞いたうえで、学校運営及び教育活動の改善を図ることを基本方針とする。

また、公表については「新潟医療福祉カレッジ 学校評価実施規定」に則り実施するものとする。

2. 開催日時及び場所

日時：令和 4 年 6 月 17 日（金） 11:00～12:30

場所：新潟医療福祉カレッジ 1 号館 202 教室

3. 出席者

委員会の出席者は以下のとおり。

所属	役職	氏名
<委員長>		
新潟医療福祉カレッジ	学校長	山田 允宣
<外部評価委員>		
特別養護老人ホーム虹の里	園長	砂井 一哉
株式会社エイエイピー	副支店長	松井 良太
<内部評価委員>		
新潟医療福祉カレッジ	副校長	星野 哲裕
新潟医療福祉カレッジ	副校長	久住 雅史
新潟医療福祉カレッジ	学科長	星野 和幸
新潟医療福祉カレッジ	入学相談課長	田村 修一
新潟医療福祉カレッジ	事務局長	福岡 宏之

4. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 出席者紹介
- (4) 自己評価結果に関する報告及び意見交換
- (5) 閉会

5. 自己評価結果に関する報告及び意見交換について

(1) 教育理念・目標・人材育成像等

- ・学校や学科の人材育成像が、第三者（特に入学を検討している者）から見た時に分かりやすい表現になっているかどうか、客観的に見直す必要がある。

(2) 学校運営

- ・今後は、より情報化社会が加速していくことが予想される。そのため、インターネット利用による情報システム化や ICT を活用した教育に取り組んで行けるよう、環境整備が必要と感じる。

(3) 教育活動

- ・実践的な職業教育について

教育の質を高める方向性は、どのように考えているか。

⇒ 専門学校としての旧来の在り方は資格取得であったが、今は学校での授業が実践力（現場ですぐに活躍できる）につながっているのかが問われている。そのため、現場の方と密接な繋がりを持って実践力の担保をしていかなければならないと考えている。

⇒ 教え方等技術面は教員に任せているが、方向性としてはアクティブラーニングで学生の主体性を引き出せるようにすることを核としている。

(4) 学修成果

- ・介護福祉科

概ね順調であるが、コミュニケーション力の向上が課題であり、様々な人と関わる機会を増やし対応していきたい。

介護の魅力を知っていただくためには、卒業生とのネットワークを活用し、ポジティブな声が発信される仕組みも有効であると思われるため検討してほしい。

- ・介護福祉士基礎学科

介護福祉士国家試験の合格率が低かったことで一部評価が下がったが、日本語能力の教育も含めた授業カリキュラムの改善が必要である。

- ・医療秘書科

現場から身に付けて欲しいスキルの要望があるので、それに応えられるような教育カリキュラムにシフトしていきたい。

- ・社会福祉科・社会福祉専攻科

社会福祉士国家試験の合格に向け、受験対策指導を体系立てて実施するとともに、卒業後2年間のフォローができるようなシステム作りを行っている。

- ・福祉心理科・福祉心理専攻科

学科の特性として対人関係が課題であり、人間関係スキルが向上するような指導をしていく必要がある。

⇒授業の中だけで取り組むのか、外部との関りを強めるのか、スキルを向上させるための方策を検討してほしい。

(5) 学生支援

- ・学生と定期的に面談する機会を設けており、学生の事を理解し、自分の目指すものを見つけられるようサポートしている。

- ・学生募集において学費軽減制度を実施しており、学費面での支援を行っている。

- ・日本人、留学生を問わず卒業後フォローのできる体制を整えていきたい。

- ・保護者とはどのような連携をとっているか。

⇒個別面談形式での保護者説明会を開催している。

- ・カスタマーハラスメントへの取り組みはあるか。

⇒現状では特にないため、今後体制を作り職場にて周知していきたい。

(6) 教育環境

- ・特になし

(7) 学生の受入れ募集

- ・高校生に受け止めてもらえる情報発信を考える際、内容が砕けすぎず硬すぎずのバランスが難しいが、媒体やメッセージに応じて強弱をつけるなど、媒体毎に変えていく事が求められていると感じる。

ホームページ閲覧者やオープンキャンパス参加者にしっかり情報が伝わるために協力していきたい。

(8) 財務

- ・特になし。

(9) 法令等の遵守

- ・特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・社会貢献ではSDGsをイメージする方も多いと思うが、どれを意識しているか。

⇒特定の項目に重点を置くということではなく、SDGsの考え方を標準的な考えとして備えていきたいと考えている。